

第2回熊本都市圏3連絡道路有識者委員会

<議事要旨>

■日 時

令和7年3月25日（火）9：30～11：30

■場 所

メルパルク熊本 3F 中岳
（熊本市中央区水道町14-1）

■委員 ※五十音順・敬称略

<委員長>

円山 琢也 熊本大学 大学院先端科学研究部 教授

<委 員>

小林 寛子 東海大学 文理融合学部 客員教授

澤田 道夫 熊本県立大学 総合管理学部 教授

篠原 亮太 熊本県立大学 名誉教授及び熊本県環境センター 館長

竹内 裕希子 熊本大学 大学院先端科学研究部 教授

野々口 弘基 熊本経済同友会 副代表幹事
（株式会社地域交通ホールディングス 代表取締役）

古荘 貴敏 熊本商工会議所 副会頭
（株式会社古荘本店 代表取締役）

星野 裕司 熊本大学 くまもと水循環・減災研究教育センター 教授

<オブザーバー>

福井 貴規 国土交通省九州地方整備局熊本河川国道事務所 所長

■議 事

- （1） 第1回有識者委員会の振り返り
- （2） 地域と道路の現状・課題を踏まえた政策目標（案）の設定
- （3） 意見聴取方法（案）

■ 委員からの主な意見

＜今後の進め方について＞

- ・ 熊本都市圏3連絡道路は、規模が大きな事業であるため、優先的に検討を行う路線を選定し進めていく事務局の案は妥当。
- ・ 検討に時間を要する事は認識しているが、こまめに情報共有していくことが重要。

＜意見聴取の方法について＞

- ・ 意見聴取の目的と道路の概略計画決定プロセスの中での意見聴取の位置づけを住民に分かりやすく伝えるべき。
- ・ 住民が熊本都市圏3連絡道路について理解しやすい資料とするべき。
- ・ 熊本都市圏3連絡道路は、広域道路ネットワークを構築し、県内のみならず九州全域に効果をもたらすことが想定されるため、県外も含め、幅広く意見を聴取すべき。

＜周知・広報について＞

- ・ 熊本都市圏3連絡道路の必要性を住民にわかりやすく伝えるべき。
- ・ 熊本都市圏3連絡道路を含めた県・市の取組み施策を積極的に周知すべき。

＜会議資料内容について＞

- ・ 環境の観点からも整理が必要であり、環境データの整理は特に時間を要するため、早めに整理を進めるべき。
- ・ 若い人にも興味を持ってもらえるような資料作成を意識すべき。